

## 日大東北高校相撲部の顧問・コーチによる部員暴行事件 追加情報

### 【告発】悪行はいつもの3人組(田中理事長、内田人事部長兼体育局長、大里総務部長) 大学の目的及び使命である“自主創造”に基づき“自首早々”を強く求めます！

以前告発した日大東北高校相撲部で発生した暴行指導の追加情報ですが、記者会見を行った松井校長は、記者会見当日に本部広報部の指示で記者会見席に座らされ、机上に用意された原稿を読まされていただけです。校長本人ですら記者会見当日に法人本部と打ち合わせもなくその席に座られるとは夢にも思っていなかったということです。

この事件に係る大学法人としての危機管理はあまりに杜撰で悪質極まるものです。

松井校長は顧問より暴行を受けた生徒の保護者からの相談内容を日大相撲部の部長を務め、かつ日大東北の併設元である日大工学部の学部長も務める出村克宣氏に報告したところ（ANNが報道した尺の長い記者会見映像の冒頭には、松井校長が出村学部長とのやり取りが初動にあったと供述しています。）、この経緯が、すぐさま理事長案件となり、日大東北の現場にかん口令が敷かれるに至りました。この件は学校内では、“見ざる・聞かざる・言わざる”の状況です。

なお、今回の暴行の容疑者である日大東北相撲部顧問の工藤豪人は、日大相撲部の主将を務めたいわゆる田中理事長の秘蔵っ子であり、教員採用では理事長推薦により無条件で採用された人物です。ゆえに教え子の不祥事が日大相撲部の総監督を務める田中理事長に波及することを阻止するために、側近である内田人事部長兼体育局長と大里総務部長が実行部隊となり、得意手の“脅しと懐柔”で関係者を抑え込んでいます。

気になる松井校長の今後の処遇ですが、以前、日大名誉教授が山口組元幹部から投資用に2千万円借金し、その謝罪会見の内容が二転三転したうえに即解雇となった“臭いものには蓋をする”事例に鑑み、責任を被され定年退職前の今年度での退任ではないかと囁かれています。

この暴行事件の背景にある田中理事長、内田人事部長兼体育局長、大里総務部長の3人組の構図は、日大に蔓延る“悪の源泉”と言えます。

日本大学の教育理念には「“自主創造”のもと、心身ともに健全な文化人を育成することを使命とする」としていますが、現状は北朝鮮の専制政治と何ら変わりがありません。

これら大学の目的及び使命を達成し、良識の府を回復するためにも、3人組に対し“自首早々”することを強く求めます！

日大東北高校教職員一同